

公益社団法人日本新体操連盟

平成 25 年度第 4 回理事会議事録

1. 会議名： 平成 25 年度第 4 回理事会
2. 日時： 平成 25 年 12 月 19 日（木）18 時 30 分～19 時 30 分
3. 場所： 東京都港区西麻布 3-2-32
「霞会館 202 号室」
4. 構成員現在数： 16 名
5. 出席役員： 二木 英徳（会 長）石崎 朔子（副 会 長）福本 隆（副 会 長）
渡辺 守成（常務理事）池田真喜子（理 事）岡 久留実（理 事）
谷口 裕代（理 事）橋本 千波（理 事）
以上 8 名
6. 欠席役員： 朝倉 正昭（副 会 長）荒井 隆（専務理事）関田史保子（常務理事）
秋山エリカ（理 事）上村 郁代（理 事）崇島 慎一（理 事）
谷原 誠（理 事）山崎 浩子（理 事）田中 元（監 事）
以上 9 名
7. 報告事項
報告事項 1 イオンカップ 2013 大会実施報告（定款第 4 条関連事項）
8. 議案：
決議事項
第 1 号議案 全日本社会人体操競技連盟組織改編について（定款第 4 条関連事項）
第 2 号議案 イオンカップ開催方法について（定款第 4 条関連事項）
第 3 号議案 その他

9. 議事の経過及び結果

(1) 議長による開会宣言

（公社）日本新体操連盟・定款第 30 条第 2 項の定めにより議長を会長二木英徳がつとめ、開会宣言を行った。

(2) 議事録署名人の選出

定款第 32 条により、議長は議事録署名人を渡辺守成常務理事と岡久留実理事にする事を議場に諮り承認された。

(3) 定足数の確認

定款第 31 条の定めにより、理事会出席者数が 8 名であることが池田真喜子理事より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。

(4) あいさつ

議長は挨拶をすませ、池田理事が進行を務めるよう依頼した。

(5) 報告事項

報告事項 1 イオンカップ 2013 大会実施報告（定款第 4 条関連事項）

議長は報告者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の報告を行った。

1. 概要

開催日：2013 年 10 月 25 日 26 日 27 日

開催場所：東京体育館 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1

参加数：18 の国と地域から 20 クラブ

テレビ放映：2013 年 11 月 2 日（土）10:45～11:40 フジテレビ系列全国ネット

テレビ視聴率：関東 1.7%・関西 3.0%・名古屋 2.7%

2. 大会の様子

前月に開催された世界選手権金銀銅メダリストが集まって試合が行われた。世界選手権金メダリストでイオンカップ初出場のロシア・ヤナ選手は記者会見で「イオンカップは夢の大会で、出場できてうれしい。スタッフが親切でここまで整備された会場で試合をするのはうれしい」とコメントがあった。

テレビ放映では近年の放映の中では低い視聴率となった。放映された内容は演技が少なかったとの意見があった。

3. 意見

二木会長より、テレビは演技中心で放映することが良いと意見があった。

渡辺常務理事より、テレビ局が過去のパターンで番組を作っているのではないかとテレビ局か情報交換や相談をしてこなかった事や、試写会なども行わない現状があると報告があった。

二木会長より、トーナメント方式の大会を考え直してはどうかと意見があった。

(6) 議決事項

第1号議案 全日本社会人体操競技連盟について(定款第4条関連事項)

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 現状報告

全日本社会人体操競技連盟(社会人連盟)が登録者数の減少に伴い組織改編を行う事となった。社会人連盟では新体操を徐々に撤退していきたい意向である。全日本ジュニア体操連盟という団体があるが、今回の改編で登録選手層が重なる事となる。日本新体操連盟にはそれほど影響はない。日本新体操連盟ではこの改編をどのように扱うか決めたい。

2. 質疑・意見

二木会長より、本来の筋は、社会人連盟が日本体操協会の下部組織の意見をまとめ、日本体操協会に申請するのが筋であると意見があった。

岡理事より、登録によって日本が分裂するような事態は避けてほしいと意見があった。

3. 決議

以上の後、日本新体操連盟からは全日本社会人連盟への新体操チームの登録は認めないとする事で全会一致で決議した。

第2号議案 イオンカップの開催方法について(定款第4条関連事項)

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 提案内容

世界選手権の優勝団体チームをイオンカップにエキシビションで招聘したい。現在の競技方法をもっとシンプルにしたいと提案があった。

2. 質疑・意見

石崎副会長より、今度イオンカップが20回目の記念大会となるので、その記念に団体チームをエキシビションで招聘してはどうか。日本では世界トップの団体演技を見る機会がない為の提案。

福本副会長より、20回目の記念に向けてゼロベースから大会を考え直しても良い時期との意見があった。

二木会長より、トーナメント制を廃止、団体チームを5チーム位招聘し大会開催はどうかと提案があった。

渡辺常務理事より、団体チームは人数が多いので経費が掛かるので検討が必要、テレビ放映の有無、それによってスポンサー増減を考える必要があると意見があった。

3. 決議

以上の後、事務局でシミュレーションを組んで案をいくつか出してみる事を全会一致で決議した。

第3号議案「その他」について

議長は議場にその他議案が無いか確認したがその他の議案は出なかった。

(5) 閉会宣言

議長は他に質問、意見がないのを確認し理事会の終了を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成 25 年 12 月 19 日

公益社団法人 日本新体操連盟 平成 25 年度第 4 回理事会

議 長 二 木 英 徳

議事録署名人 渡 辺 守 成

同 岡 久留実